

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.67

2013.1月-3月



弘中 孝さん

久保陽子さん

岩崎 洸さん

音楽の話・輪・和・W a
きっかけの曲

うかわ先生の
おんがく談義

出演者募集

コンサートのお知らせ

三月十六日開催

第122回
しほぎへんらコンサート
栗コーダーカルテット

■寄稿 宮澤敏夫

■寄稿 弘中 孝

二月二日開催

第121回
しほぎへんらコンサート
ピアノリスト
弘中孝となかまたち

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

ピアニスト 弘中孝となかまたち

～弘中 孝(ピアノ) 久保陽子(ヴァイオリン) 岩崎 洸(チェロ)～

－室内楽について－

ピアニスト 弘中 孝

ピアノはソロ楽器としての役割以外に、俗に言う“合わせ物”としての一員になることの多い楽器です。純粋な伴奏、他楽器との二重奏（例えばヴァイオリン・ソナタ）、ピアノ三重奏（今回の大公トリオ等）、ピアノ四重奏、ピアノ五重奏等々、色々な形での合わせ物がありますが、それぞれに異なる特徴を持っていて、ソロとは又違った意味での緊張と楽しさがあります。

合わせ物は当然のことながら一人でなく複数の人間が一つの曲を弾く訳ですからテンポの上でも音量の上でも、バランスということがとても大事になって来ます。又そこには作曲家の持つ特性と、その時代の楽器の性能と今のものとの違いと言ったようなこともバランスを保つ上で、重要な要素となっています。例えばフランクという作曲家にヴァイオリンとピアノのためのソナタという有名な曲があります。この作曲家はオルガンが得意だった人で、他の一般的なヴァイオリン・ソナタに比べて、ピアノの音の数が多く非常にぶ厚い音になりやすくヴァイオリンをかき消してしまうことが多いのです。又ラフマニノフという作曲家は本当にピアノの名手だった人で、このラフマニノフのチェロ・ソナタのピアノはとても難曲でチェロの10倍位音があります。チェロという楽器はピアニストにとって要注意の楽器でピアノの中低音はチェロのそれを

隠しやすいのです。

楽器の性能というところに話をもどしますが、今回弾くベートーヴェンという作曲家の前半生の頃のピアノはとてもピアノと呼ぶ様な楽器ではなく今のピアノと比べれば実にかほそい音しか出ませんでした。そのことはベートーヴェンの楽譜を見れば一目瞭然で伴奏のピアノに*f*(フォルテ)、旋律のヴァイオリンとチェロに*p*(ピアノ)が書いてあったりします。ベートーヴェンの中期のころに（熱情ソナタ等を作った時期）によく今のピアノの原型のようなものが出て来るのですが、それでも今のピアノのように後ろに70人位のオーケストラを背負っていても聞こえてくるような音量は持っていませんでした。鳴りすぎるピアノというのは合わせ物の時は実にやっかいなものなのです。

三重奏というのは二重奏に比べると役割が三等分されているといった感じであり神経質にバランスの事を考えない方が、それぞれのプレイヤーの特質が出て面白いといった面があります。四重奏はそういう意味で最もバランスを考えなければいけない組合せのようです。私は桐五重奏団を長年続けていまして、ピアノ・クインテットに関して合わせ物の中で最も経験を持っています。ピアノ五重奏というのはどちらかというと小型のピアノコンツェルトのような要素があり、ピアニスト対

弦楽四重奏といった趣を持っています。

岩崎洸、久保陽子とは桐朋の高等学校時代からの仲間で岩崎洸君とは留学先のニューヨーク・ジュリアード音楽院も同じで、すぐ近

くに住み長年のつき合いです。もちろん一人一人個性は違うのですが同じ時代を生きた人間の息づかいを感じていただき、合わせ物の面白さを感じ取っていただけたら幸いです。

ピアニスト弘中孝と仲間たち

公益財団法人札幌交響楽団 事務局長 宮澤 敏夫

弘中さんがアピカホールでピアノデュオコンサートを手掛けたのは早いもので12年も前のことになります。その6年後にピアノデュオコンサートの前に彼のリサイタルが開催されたのをきっかけに、その3年後には夫人の久保陽子さんとのジョイントリサイタル、そして今回は岩崎君が参加してピアノトリオのコンサートが開催されることになりました。岩崎君は我が国のチェロ界の大御所的存在で、プロフィールにあるように輝かしい音楽歴をお持ちです。彼がアピカホールに初登場すると聞いて、何故か私も興奮しています。彼とはもう40年以上の古い友人ですが、もちろん弘中さん、久保さんとも同じ桐朋学園の一年後輩の仲でもあり、高校のころから皆さんい関係を保ちながら共演を続けています。特に久保さんと彼はジャパン・ストリング・カルテットを結成、長年の息のあったコンビでもあります。今回のコンサートはそれぞれのソロがあって、最後にはベートーヴェンの

「大公トリオ」が演奏されますが、お客様にとって楽しい一夜になることと思います。

日本を代表するお三方のそれぞれの演奏を楽しんでいただいた後に、三人で奏でられる丁々発止の息の合った緊迫感のあるベートーヴェンが聴けるとは羨ましい限りです。彼の楽器はストラディヴァリウスだと思います。変えていなければですが。ストラディヴァリウスが作ったチェロはなかなかお目にかかれる楽器ではありませんので、十分にお楽しみいただきたいと思います。

私もお招待を受けたのですが、あいにく札幌交響楽団の定期演奏会の日にあたります。私としましてはどうしても抜け出すことの出来ない演奏会ですので、伺うことができません。本当に残念です。西脇の皆さんには室内楽の醍醐味を大いに味わっていただく良い機会だと思います。一人でも多くの方にお楽しみいただければ幸いです。

公演決定!

3月16日(土)

第122回しばざくらコンサート

栗コーダーカルテット

リコーダーアンサンブル“おもちゃ箱” 岡本 芳雄

リコーダーアンサンブル“おもちゃ箱”の岡本芳雄です。アピカホールを本拠地に月に1回ほどの練習をしています。毎年催される「アピカ・アンサンブルコンサート」(今年は1月26日)への出演も楽しみにしています。

おとなになっても、毎日のようにリコーダーを吹いていますが、フルートやクラリネットと違って、おもちゃのように扱っているリコーダー・・・小学3年生の頃から持たされ、音楽の授業でも使われている楽器ですが、、、

バッハやヘンデルやテレマンで知られるバロック音楽が盛んだった頃には、ソロ楽器として大活躍していたのです。今でも当時の名器がたくさん残っています。

それより前のルネサンス音楽の時代には、合奏楽器として、片手で隠れてしまうほどの小さなリコーダーから大人の背丈よりも大きいリコーダーまでが作られていました。大人の趣味として、なくてはならないものだったんですね。

モーツァルトの時代、古典派音楽が盛んになる頃には、もうほとんど忘れ去られてしまったリコーダーは、バロック以前の音楽の復興が盛んになる今から100年ほど前、また改めて、音楽シーンに登場するようになりました。そして、世界大戦の頃には、鼓笛隊の楽器として利用されています。

日本でも40年ほど前から、ソロやアンサンブルの楽器として楽しまれるようになりました。バロック音楽やルネサンス音楽そして現代の作品までかなり真剣に取り組むようになってきた頃、突如として現れたのが、「栗コーダーカルテット」でした。

肩の力が抜けた身近なリコーダーの音色が飛

び込んできたのです。

「栗コーダーカルテット」の音色は、NHK Eテレでお馴染みのピタゴラスイッチのテーマ曲をはじめ、いろいろなテレビ番組のBGMやCMのBGM...で、それと知らない間に耳にしています。

聞いた誰もがホッとしたり、楽しくなってくるような音色です。たくさん発売されているCDのジャケットも、これまた愉快的デザインなんです。

その「栗コーダーカルテット」がアピカホールにやってきます!演奏会でも大人気の楽団です。結成されてからはや20年近く経つ「栗コーダーカルテット」は、リコーダーをはじめ、ピアノ、ウクレレ、いろいろな打楽器、そしてブラスバンドでも使われる楽器まで、みんなのよく知っている身近な楽器を様々なアレンジしてゴキゲンなアンサンブルを聴かせてくれます。

当日は早めにアピカホールへ行って、できるだけ前の方の席で彼らのパフォーマンスを楽しみたいと思っています。

全員が作曲家・編曲家そして演奏家でもある彼ら4人組は、みんなの喜ぶ顔が大好きな人達なんだろうな～ きっと・・・

「栗コーダーカルテット」

と き 3月16日(土)
午後2時開演 (午後1時30分開場)
入場料 一般1,500円 / 4歳~小学生500円
※全席自由
※0歳より入場可(3歳以下ひざ上鑑賞に限り無料、座席が必要な場合は有料。)
チケット発売開始 1月12日(土)

コンサートのお知らせ

第15回 「アピカ・アンサンブルコンサート」

1月26日(土)

と き 午後1時30分開演 (午後1時開場)

入場料 無料

市内の中学・高校の吹奏楽部・音楽部と一般団体によるアンサンブルコンサートです。

アピカホール弦楽アンサンブル教室ミニコンサート

2月11日(月・祝)

と き 午後2時30分開演 (午後2時15分開演)

入場料 無料 (要整理券)

出演 弦楽アンサンブル教室生 (小・中・高)

指導者 藤井允人先生 西山枝里先生

今年度6月から始まった弦楽アンサンブル教室生たちのヴァイオリン・ヴィオラ・チェロによる初舞台です。練習の成果を発表する30分程度のミニコンサートです。

ひびけ! 春のうた声

～アピカ児童合唱団・混声Còroアピカ 1stコンサート～

3月3日(日)

と き 午後3時30分開演 (午後3時開演)

入場料 1,200円 (全席自由)

※4歳以上有料(3歳以下ひざ上席は無料・座席が必要な場合は有料)

出演 アピカ児童合唱団・混声Còroアピカ・ライツ室内管弦楽団・百合花

指導者 百合花先生

チケット発売開始 1月12日(土)

アピカホール開館15周年記念コンサートに出演された合唱団員を中心に新メンバーを加え昨年6月からアピカ児童合唱団・混声Còroアピカとして練習を重ね、ライツ室内管弦楽団と共にファーストコンサートに臨みます。



オーストリア音楽の特質(第3回)

前回は、オーストリアとその音楽の特異性を民族的な面から考えてみました。今回は、視点を変えて宗教的な面から考えてみましょう。

オーストリア音楽の特殊性の第2として、カトリック的な楽天主義に基づく諸特性を挙げる事ができるように思います。

オーストリアの音楽家に共通した諸特性——楽天性、無邪気さ、陽気さ、自然らしさ、無意識性等々——は、例えば、謝肉祭の馬鹿騒ぎなどにみられるように南ドイツに特有の性向であって、カトリック的な楽天主義に由来するものと言えるでしょう。北・中部ドイツのプロテスタント地域の人々が、理性的・合理的な気質をもつものに対して、南ドイツやオーストリアのカトリック地域の人々は、楽天的、情熱的な性向を強く表すようです。モーツァルトは、その生涯の終わりにいたるまで、言葉をひねくることがや、子供っぽいあだ名や、滑稽なたわけや、快活な猥談などを愛好していましたが、これも、まさしく、北ドイツの人々には理解が困難な、南ドイツ的な快活の傾向だと言えるでしょう。

陽気な南ドイツ人は、北ドイツ的な感傷を嫌うのであって、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーの音楽の中に、感傷はほとんど顔をのぞかせないのです。南ドイツ的な開放性と多彩さ——ブラームスはシューベルトから大きな影響を受けましたが、感傷に傾きがちな北ドイツ人ブラームスにとっては、これこそが一番のあこがれの的であったのではないのでしょうか。思考もまた人間の現実性そのものと密着しています。オース

トリアは、心理学者のフロイト(ユダヤ人ではありますが)は生み出しましたが、カントやヘーゲルやショーペンハウアーといった秩序立った思考を積み上げていく哲学者は一人として生み出さなかったのです(ついでながら、同じくユダヤ人であったオーストリアの音楽家マーラーは、生前、フロイトから精神分析の治療を受けています)。

音楽家においても、シューマン、ブラームス、ワーグナーといったザクセンや北西ドイツのプロテスタント地域の人たちと、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーといったカトリック地域の人たちを対置してみると、この傾向は明らかなのではないでしょうか。前者の系列が、教養のある文化の人間のタイプだとすれば、後者の系列、つまりオーストリアの音楽家たちは、いわば、大地の子であって、彼らに共通する際立った特質、それは、思弁とは無縁の《音楽師気質》だと言えるでしょう。

彼らには、たいした教養の持ち合わせはありませんでした。同時代人の証言があります。モーツァルトが晩年に四重奏曲を演奏させていた家の主人、ウィーンの宮廷顧問官フランツ・ザーレス・フォン・グライナーには、カロリーネ・ピヒラーという娘がいたのですが、カロリーネは、偉大な音楽家たち一般の《無教養》と、とりわけモーツァルト、シューベルト、ハイドンの無教養を深く確信していて、ただウェーバーとケルビーニだけを例外だとみなしています。彼女は、1844年に出版された『回想記』のなかで、次のように書いています。

「モーツァルトとハイドンはわたしのよく知っている人ですが、個人的な交際のなかで、音楽以外にはなにも傑出した精神力を示さず、ほとんどどんな種類の精神的教養、学問のないしは高級な傾向も示さない人々でした。凡庸な考え方、平板な冗談、モーツァルトにおいては軽薄な生活、——彼らが交際のなかで自分を示すのはせいぜいこういうものだけによるのです……」(註1)

ところで、カロリーネがブルックナーとも知り合いであったとしたら、彼女は間違いなく、ブルックナーをも、先の3人のお仲間に加えたことでしょう。ブルックナーは、ほとんど本を読みませんでした。ある弟子によると、教養を受けていた3年半のあいだ、ブルックナーの家で見かけた本は3冊だけ、他に仮綴じ本が1冊あったにすぎなかったそうです。彼らは、高級な《教養》を少しも持たなかったし、また必要ともしなかったと言えるでしょう。彼らは、あくまでも素朴な音楽職人としてとどまり、純粋なムジツィーレンの世界に遊ぶのです。

意識の世紀である19世紀においては、音楽家も、もはや音楽職人としてとどまるのが不可能となり、知的な教養のある音楽家にならざるをえなくなりました。ウェーバー以後、19世紀においては、「文学的に自己表現しない音楽家、詩人あるいはエッセイストとして、批評家あるいは少なくとも書簡

筆者として語らない音楽家はほとんど一人も存在しない」(註2)のです。シューマンもしており、ワーグナーもまたしかりでした。だが、彼らの同時代人であるブルックナーは、なんと異常な、反時代的な存在であることでしょう。19世紀のまっただ中に、ブルックナーのような、全く《非文学的な》、素朴な、時代はずれの音楽家、延々と続く大交響曲を9曲も書いたような茫洋とした人物が存在しえたということは一種の奇蹟だと言えますが、これこそまさしくオーストリアならではのことと言えないでしょうか。

オーストリアには、「近代の理性的一元支配の体系にはどうしても吸収されない芯」(註3)が特に著しくみられるのであって、より根源的な、何か途方もないものがあるように思えるのです。

そろそろ紙数が尽きてきました。続きは次回に譲りましょう。

- 註(1) アインシュタイン(浅井真男訳)
『モーツァルト—その人間と作品—』
白水社 136ページ
- (2) アインシュタイン(浅井真男訳)
『音楽における偉大さ』
白水社 77ページ
- (3) 高橋英夫「幻聴の伽藍」
『音楽の手帳・ブルックナー』所収
青土社 44~50ページ

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鶴川 真

西脇ロイヤルホテル

 Daiwa House Group®

兵庫県西脇市西脇 991 番地 〒677-0015
Tel 0795-23-2000 Fax 0795-23-8604

織乃里

【昼】11:30~
オーダーストップ13:30
【夜】17:30~
オーダーストップ21:00

和食処 織乃里

ラフィネ

RAFFINE

【昼】11:30~15:00
(最終入店14:00)
【夜】17:30~21:00
(最終入店20:00)

レストラン ラフィネ



出演者募集のお知らせ

第22回「アピカ・フレッシュコンサート」

アピカホールでは、地元出身で音楽系大学等を卒業するみなさんの今後の活躍を期待し、支援することを目的として開催します。

コンサート日：4月21日(日) 午後3時開演 (予定)

対象：北播磨地域(西脇市、加東市、小野市、加西市、三木市、多可郡)出身で、平成24年及び平成25年3月末に音楽系大学又は学科(短期大学を含む全てのコース)を卒業又は卒業予定の方。

参加費：入場券30枚程度の負担があります。(前売券 1,000円)

演奏時間：15分程度

申込方法：申込書に必要事項を記入の上、写真を添えて郵送又はご持参ください。

申込締切：1月31日(木)必着

舞台進行打合せ：4月上旬までに実施

その他：・応募者数によっては、開催しない場合があります。その場合、次年度に出演していただきます。
・応募者数により、コンサートの開演時間及び演奏時間を変更する場合があります。

第17回「リトルピアニストの大っきなコンサート」

世界の名器スタインウェイピアノを広く子どもたちに弾いてもらいたいと願い、開館当初から開催しています。夏休みの思い出として出演してみませんか？

コンサート日：8月24日(土) 午前の部/午後の部 (申込締切後決定)

対象：西脇市在住又は市内でピアノを習っている幼児(4歳)から高校生まで(平成25年4月現在)。独奏、連弾、ピアノと声楽・管楽器・弦楽器との共演も可能。

参加費：無料

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はご持参ください。(FAX可)

申込締切：3月11日(月) 必着

説明会：4月13日(土) 午前10時30分から



第5回「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオコンサート」

アピカホールでは、日本を代表するピアニスト弘中孝先生の指導を受けコンサートで共演できる、夢のような企画を3年に一度開催しています。アンサンブルの楽しさを体験してください。

コンサート日：8月31日(土) 午後2時開演 (予定)

選考会：4月7日(日)

選考者：弘中 孝

対象：北播磨地域(西脇市、加東市、小野市、加西市、三木市、多可郡)在住の小学2年生から高校3年生まで(平成25年4月現在)。

申込方法：申込書に必要事項記入の上、郵送又はご持参ください。(FAX可)

選考人数：10名程度

選出された方は、弘中先生のレッスンを受け、先生とデュオでコンサートに出演していただきます。

レッスン日 第1回 7月13日(土) ~15日(月・祝)(予定)

第2回 8月29日(木) ~30日(金)(予定)

申込締切：3月23日(土)必着

アピカ児童合唱団・混声Còroアピカ及び、弦楽アンサンブル教室の受講生を随時募集しています。



お問い合わせ、お申し込みはアピカホールまで。
TEL.0795-23-9000 FAX.0795-23-9031

アピカホール 検索 ←各参加申込書はホームページから入手できます。

おとなのコース
MUSIC SCHOOL

バイオリンコース

生徒募集

ピアノコース

無料体験受付中

ヨシダ楽器 西脇市西脇983-8 (みなと銀行前)
Tel(0795)22-2322 Fax(0795)23-4437

KOBE
STYLE
Kitchen & Reform

www.kobe-style.co.jp

〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中6-9 TEL:078-857-8424
神戸ファッショナート10F FAX:078-857-8425

ヤマハ 音楽教室&英語教室

春の無料体験レッスン受付中
(個人レッスン体験もあり!!)

ピアノ・エレクトーン・ギター
バイオリン・フルート・サクソ 等

ピアノ

(森川和子先生・高原典子先生の特別指導コース有)

お問い合わせ
ヤマハ特約店 (株)北条楽器
加西市北条町横尾183-5 ☎0790-42-0697

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者

ISO 9001
JQA-QM5608

WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

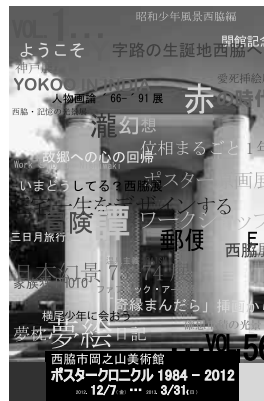
和以建設 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

西脇市岡之山美術館
ポスタークロニクル1984-2012
～平成25年3月31日(日)

1984年開館からの第1回から第56回までの
横尾忠則ポスター56点を28年間の総括として
展示



開館時間 午前10時～午後5時(入館4時30分まで)
入館料 大人310円(260円)高・大学生210円(160円)
小・中学生110円(80円)(20名以上団体割引料金)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
年末年始 12/29～1/3

●アトリエ個展シリーズ

- VOL.3 ●井上 祥子展 (洋画)
1/4(金)～26(土)
- VOL.4 ●木寺 明展 (洋画)
1/27(日)～2/16(土)
- VOL.5 ●ウエダ キョアキ展 (平面・立体)
2/17(日)～3/9(土)
- VOL.6 ●西村 義富展 (洋画)
3/10(日)～30(土)

※アトリエシリーズは無料

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」も訪問ください。

西脇市民会館

TEL.0795-22-5715
休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

人形劇団むすび座「ピノキオ」

とき 6月1日(土)
午後2時開演(午後1時30分開場)

ところ 市民会館 大ホール 全席指定

入場料 一般 2,000円 中学生以下 1,000円
おやこペア券 2,500円 (当日各500円増)
※未就学児は保護者同伴でお願いします。
※4歳以上は有料(4歳未満はひざ上鑑賞に限り無料)

チケット発売開始 / 3月20日(水・祝) 午前9時～

※ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/shiminkaikan/> E-mail: shiminkaikan@ever.ocn.ne.jp



音楽の
話・輪・和・Wa

きっかけの曲

来住 光教

あなたのいつまでも心に残る曲、音楽は何でしょうか？

私の一曲は、小学生の時ふと耳にした「ペルシヤの市場にて」でした。

見知らぬ国を旅しているような、人の暮らしている音や匂いまでも感じる気がしました。ペルシヤの歴史も知らなかった少年の私に、中東の異文化を届ける旋律が心にこたえました。

この感動は深く残り西脇中学校へ。吹奏楽部に入った私は、この曲を自分で演奏することが出来ました。

耳にし心に残った感動を自分の体で表現して、私は音楽が好きになりました。

部活顧問(故藤原優先生)が、吹奏楽部とは別に西中アンサンブル(軽音楽)を作って下さり、ドラムと出会いました。それ以後学生時代もバンド活動を続け、私の青春は音楽と共にありました。

その後家業を継いで結婚もし、生活を優先して生きる中で音楽と距離ができていきましたが、子育ても落ち着いてきた頃「西脇市民合唱団」に入団させていただくことになりました。30代の頃です。

細田重康先生のご厚意で、合唱団ではあります「サイドバイサイド」(バンド)に入れて頂き

ました。音楽との幸せな再会です。

その後、家族も私の「音楽と演奏のある暮らし」を応援し続けてくれました。

振り返れば、音楽が私の体の中を流れ続けて、これまでの人生の紆余曲折を支え励ましてくれました。そして、かけがえの無い恩師と仲間を与えてくれました。

還暦を迎えた今、いろんなジャンルの曲を聴き、好きな楽器を触り、ペルシヤの市場にてから始まった「心に残る音楽」を人生の黄昏まで楽しんでいきたいと思えます。

(西脇市野村町

額縁店経営)



編集後記

合唱で繋がり響く和！いつもボナンタゴンをご愛読いただき、ありがとうございます。

昨年末、30周年を迎えた10,000人の第九に参加しました。

その名の通り、1万人がベートーヴェンの「第九」を大合唱するという巨大スケールのコンサートで歌ってきました。(会場は、大阪城ホール。指揮者は、佐渡裕さん。)

合唱は、多くの人が参加して成り立つものですからそこには、いろんな人の想いや人生があると思います。本当に歌うのが嬉しくて、舞台上上がるのが嬉しくてというのが伝わってきて、こちらも嬉しくなってきました。

アビカにも、合唱団が誕生して、百合花先生の指導

で練習に励まれています。いよいよ3月にアビカホールでお披露目コンサートがあります。

随時募集中ですので、みなさんもぜひぜひ参加して歌ってくださいね^^/

本年も、皆様のご意見やご感想を参考にし、さらなる紙面の充実を目指していきたいと思えます。皆様にとって素敵な一年でありますことを、スタッフ一同、心より願っております。

2013年もアビカホールの音楽情報誌を宜しくお願い申し上げます。

Happy New Year to you! I wish this year will be the happiest and best for you.

(Green)

アピカホール 催しガイド 1月~4月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催 ・ 問 合 せ	特 集 記 事
1/13(日)	平成25年西脇市成人式	11:00~	関係者	西脇市教育委員会 青少年センター ☎0795-22-4000	
1/14(月・祝)	中村文昭 講演会	13:30~	無料	多可町商工会青年部 ☎0795-32-2161	
1/20(日)	合同発表会	①10:00~ ②13:30~ ③16:00~	関係者	㈱北条楽器 ☎0790-42-0697	
1/26(土)	第15回 「アピカ・アンサンブルコンサート」	13:30~	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P5
2/2(土)	第121回 しばざくらコンサート ピアニスト弘中孝となかまたち ~弘中孝ピアノ・久保陽子ヴァイオリン・若崎洗テロ~	15:00~	一般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2-3
2/11(月・祝)	アピカホール弦楽アンサンブル教室 ミニコンサート	14:30~	無料 (要整理券)	アピカホール ☎0795-23-9000	P5
2/17(日)・24(日)	北条楽器 発表会	①10:30~ ②13:30~ ③16:30~	無料	㈱北条楽器 ☎0790-42-0697	
3/3(日)	ひびけ! 春のうた声 ~アピカ児童合唱団・混声Cbroアピカ 1stコンサート~	15:30~	1,200円 (4歳以上有料)	アピカホール ☎0795-23-9000	P5
3/7(木)・8(金)	播州織総合素材展2013 (ファッションショー)	①11:00~ ②13:30~	無料	公益財団法人 北播磨地場産業開発機構 ☎0795-22-7676	
3/9(土)	ヨシダ楽器音楽教室 発表会	13:00~	無料	ヨシダ楽器 ☎0795-22-2322	
3/10(日)	ヨシダ楽器音楽教室 発表会	①9:00~ ②13:00~	無料	ヨシダ楽器 ☎0795-22-2322	
3/16(土)	第122回 しばざくらコンサート 「栗コーダーカルテット」	14:00~	一般 1,500円 4歳~小学生 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4
3/20(水・祝)	ヨシダ楽器音楽教室 発表会	13:00~	無料	ヨシダ楽器 ☎0795-22-2322	
3/23(土)	西脇ライオンズクラブ結成50周年記念式典	10:30~	関係者	西脇ライオンズクラブ ☎0795-25-0711	
3/24(日)	2013春のカルチャーフェスティバル 「西脇市民音楽祭」(合唱とベル演奏の部)	12:30~	500円 (駐車料金別途)	教育委員会 生涯学習課 ☎0795-22-5996	
4/6(土)	西脇ロータリークラブ創立50周年記念式典	15:00~	関係者	西脇ロータリークラブ ☎0795-22-3901	
4/14(日)	ミニミニコンサート	13:30~	関係者	杉本千穂 ☎0795-32-3121	
4/21(日)	第22回 「アピカ・フレッシュコンサート」	15:00~(予定)	前売券 1,000円 (当日券 1,500円)	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
4/27(土)	芽吹きコンサート	14:00~	2,000円	西脇市いけばな協会 ☎0795-23-6234	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。

★アピカホール主催の有料コンサートにご来場のお客様に限り、アピカ地下駐車場の3時間無料駐車サービス券をお渡しします。

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんにちは
(エスプレント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2012年12月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。